

「スイッチ操作によるコミュニケーションと楽器演奏」(自立活動)

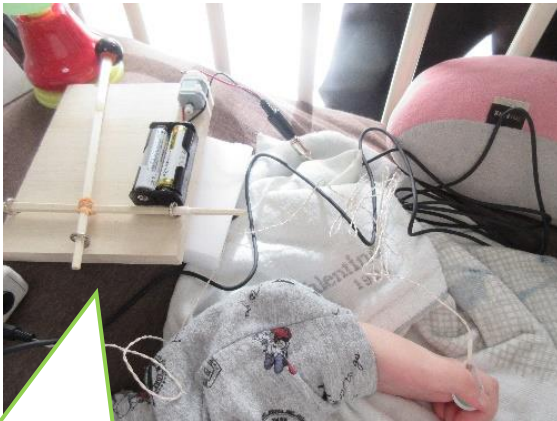
【ねらい】

ピエゾスイッチを使用し、本生徒の「はい」「いいえ」等の返事を他者に分かりやすい形で伝えることができるようにする。

【内 容】

これまでの学習を通して、嬉しい表情、緊張している表情、考えているような表情など、表情や目、口の動きで気持ちを伝えることが増えてきているため、さらにICT機器等も取り入れ、生徒が自分なりの方法で気持ちを表出する学習を重ねている。

「はい」「いいえ」等の質問に対する返事を、ピエゾスイッチを押すことで鳴る機械音だけでなく、接続された楽器が鳴ったり、バチが動いたりすることで、他者だけでなく、自身でも、目や音で伝わっていることがわかりやすいようにした。



ピエゾスイッチを押すと
その先に接続された「ばち」が動
き、楽器を鳴らすことができま
す。

色々な楽器を自分の意
思で奏することができます♪



【成果】

本生徒の体調等によるところもあるが、概ね、教員が発した質問や問いかけに対して、スイッチを押して応えることができていた。また、スイッチの先に、ビッグマックを接続して返事をする活動を行っていたこともある。しかし、今回行ってきたように、スイッチを押すと、自分で選んだ楽器が鳴る、などの方が、スイッチ操作をする楽しさや相手に気持ちが伝わった喜びなどは味わいやすいのではないかと感じた。